

『紡ぐ』

2022.12.15 第52号

発行 教育相談室「あした塾」

過疎化とは 人がいなくなるだけ？

穴水町の人口は9月1日時点で7,591人(北国新聞)と7,600人を叩いてきました。人口減の歯止めがかりません。空き家が増え、耕作放棄地が増え、過疎化はさらに進行しています。「過疎化」とは、単に人がいなくなるだけではありません。地域文化、伝統文化が消えていき、文化財が埋もれていきます。そこにあった人の暮らしや人の生き証人が消えていくのです。そんな中、多くの地域・住民が様々な形で地域文化を守り、伝承に努めています。「文化財やトキで、メシが食えるか。」などの苦悩の声も聞かれますが、ないものねだりでは



諸橋地区では、コロナ禍の中、諸橋芸能文化発表会、は中止になっていますが、「諸橋！みんなの作品展」が11月24日～27日に行われました。(写真：諸橋公民館提供)



なく、穴水という町にある様々な「宝」を生かした所づくりを考えることが大事なのではないでしょうか。

甲地区では11月27日、「甲文化交流の集い」を行っています。作品展の他、住民が持ち寄り、日用品のバザーも実施されています。(写真：甲公民館提供)

あえのこと

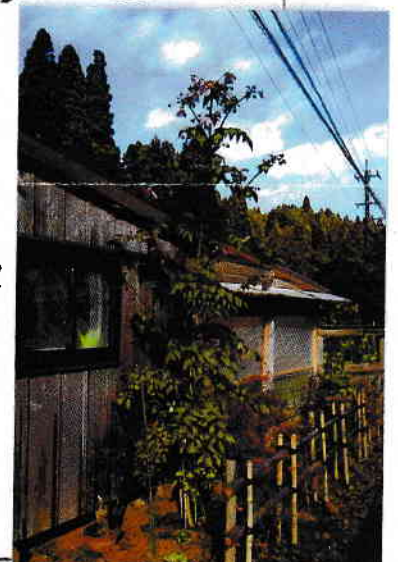
12月5日、穴水町で唯一、あえのことが藤巻の森川祐征さんによって学ばれました。今年はお年輩の3、4年生が見学しました。



(写真は資料写真です。昨年の様子です。)

皇帝ダリアです

ダリアの王様「皇帝ダリア」が藤巻の森で3代目さん宅で咲きはじめました。中米原産のキク科の球根植物で、高さ5mほどになります。



令和4年第6回水町議会

12月議会が 各議員の一般質問

佐藤 豊議員 町道維持管理
の状況について・除雪・凍結防止対策について

大中正司議員 全国学力テスト習
状況調査（本町の事態と教育委員会の見解 他）
・町立小中学校の統合問題について

湯口はる議員 高齢化に向けた福
祉対策 未来の子育て教育支援について・児童生
徒の携帯電話の取り扱い 今後の農業政策について

伊藤繁男議員 水未来基金に
ついて・雇用問題と支援策・応募型視察活動
支援・行政情報収集のための職員出張派遣
資格取得奨励金制度について

小坂孝純議員 全国消防操法大会
参加への奨励金・水中央地区都市構
想再編集中支援事業の内容について

小岩政一議員 令和5年度当初
予算編成方針について・デジタル化（パポー
レス）の推進について

田方 均議員 移住・定住・交流
促進及び空き家・空き店舗の対策等

一般質問時の傍聴者は6人（報道含む）。
最終日は請願採決にもあり、傍聴者
は10人（報道含む）。初日の傍聴者も。



（水町港付近にユリの
花。12月に咲くユリは
何ユリ？）

大間教育長 初答弁

12月議会一般質問で大間順
子教育長が初答弁に立ちました。
大中正司議員の学力テストに関す
る質問に「過去問は年間計画に
もついで教材として活用してUT
学力テストの事前対策ではない。」
と答弁しました。

この議会では町長の他、吉田地
域整備課長、まち管理課長が答弁に立ちます。

請願採決!!

12月議会最終日、小中学校を統合する計画を白紙
に戻す「水町の子育て・教育を考える会」が提出
した請願の採決が行われ、ち対4で採決されました。
先に行われた教育民生委員会で不採決となってい
たが、逆転採決という衝撃的な結果でした。

伊藤繁男議員
の議員火筒の一文
を引用しながら賛
成討論。佐藤豊
議員の「住民の意見
は聴いた。統合バ
キ」と反対討論。
（写真：北国新聞より）

続いて大中正司議員の「当事者不在で審議は十分
ではなかった。」と賛成討論。その後採決され、伊藤
大中、小泉一明、湯口はる、田方 均各議員が賛成。
佐藤、渡崎音男、小坂孝純、小岩政一各議員が反対
のち対4という結果でした。

その後、「水町議会も捨てたもんじゃない。」「これ
二元代表制の本来の姿だ。」「これは重い。」「若い人たちの
熱い気持ちと行動力はすばらしい。」の声やあち
こちで聞かれました。今後はどう動くのか...です。



二元代表制

首長の議員の選挙で選ばれる。どちらも住民の代表。

令和5年1月発行予定の第53号は1月中旬になりお。
来年こそ良い年になりますように。